

都 退 教 協 だ よ り

No.290号

2019年6月19日発行

東京都退職教職員協議会 会長 柴田 迪春

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

格差をなくし、平和を守る！ 第90回メーデー中央大会

笑顔あふれる未来をつくろう すべての仲間の連帯で！

4月27日（土）、記念すべき第90回メーデー中央大会が代々木公園で中央メーデーが開催されました。都退教協からも多くの会員が参加し、現職の皆さんとも交流することができました。

神津連合会長は、「日本のメーデーは99年前にはじまり、弾圧を受けて開催できなかった時を経て、今回90回の節目を迎えた。今、私たちはさまざまな難題を抱えているが、この99年間に積み上げてきた団結の力をもってすれば、どのような状況も乗り越え

られる。」と呼びかけ、ディーセント・ワークの促進、ジェンダー平等などにも連合がリードして取り組んでいくと訴えました。

また、7月に行われる参議院選挙に仲間を送り出す決意を確認しました。



都退教協総会に参加しましょう！

7月3日(水)14:00 東京教組会議室

第45回都退教協定期総会を下記の通り開催いたします。多くの会員の皆様に参加されるようお願い申し上げます。

安倍政権は、7月の参議院選挙で改憲勢力が勝つことによって一気に憲法改悪を進めようとしています。年金削減、医療費・介護費などの負担増など福祉切り捨ての一方で、東アジアの平

和に水を差し、琉球弧を米軍の防波堤にするために、自衛隊の米軍傭兵化と基地増強、辺野古新基地建設を強行しています。

私たち退職教職員が安心して暮らせる年金・医療・介護共生社会、子どもたちに平和憲法を引き継ぐことをめざし、都退教協総会を成功させましょう。

記

日時：7月3日（水）午後2時開会～4時閉会予定

会場：東京教組会議室（日本教育会館2階）

議事：①2018年度 経過報告・決算報告 ②2019年度 活動方針・予算案

③2019年度 役員人事

④総会宣言

※議案書は、P2～P7に掲載しています。

2018年度 経過報告

私たちは忘れません。森友・加計疑惑、政府統計の不正、安倍・麻生道路への付度、自衛隊日報隠蔽、「戦争法」「共謀罪」の強行採決、沖縄の民意を無視した辺野古新基地建設強行、天皇代替わりの政治利用、高校無償化から朝鮮学校排除、原発再稼働、道徳の教科化・・・安倍政権の国家の私物化と利権付度政治、米国従属と戦争をする国づくりは、枚挙にいとまがありません。

4月の統一選挙では、沖縄衆議院補欠選挙で屋良朝博さんが当選し、県民投票に続き辺野古新基地建設に反対する沖縄の民意を明確に示しました。また、東京教組組織内候補のあべ祐美子さんをはじめ、私たちの推薦する多くの候補を区市町村議員に当選させることができました。しかし、自公政権の地方議員も圧倒的に多く、安倍政治に終止符を打ち改憲を許さないために、7月の参議院選挙の勝利が不可欠です。

みずおか俊一さん(比例区)をはじめ、日政連推薦議員の必勝は欠かすことができません。

東日本大震災・福島第一原発事故から8年、安倍政権は被災地に寄り添うどころか、借り上げ住宅から被災者を追い出し、福一周辺地域の避難指示を解除し帰還を促し、「復興オリンピック」と言い募っています。

安倍政権の「成長戦略の目玉」だった原発輸出は破綻し、日立・東芝・三菱などの原発企業はこぞって海外輸出を凍結、撤退、断念せざるを迫りませんでした。それでも原発再稼働・核燃料サイクル推進に固執していますが、国内世論・国際社会の脱原発や原発廃炉の声が大きく、この流れは止めることはできません。

日本経済は日銀の出口なき超金融緩和によるバブルで維持されていますが、国家財政赤字は限界を超え、庶民の暮らしにバブルの滴は一滴も落ちず、このまま消費税が10%になれば、私たち年金生活者をはじめ国民の暮らしは破綻し、政治不信は広がる一方になるでしょう。

1. 組織強化の取り組み

退職者への加入呼びかけにより4人が加入した一方、退会者は亡くなった方を含め17人となり会員数は減少し続けています。定年退職者への加入呼びかけや会費徴収の強化などにとりくみ組織拡大と財政確立にとりくみました。今後、再任用者への呼びかけなど幅広く組織拡大を図る必要があります。

2. 憲法改悪阻止・平和を守る取り組み

改憲と戦争ができる国づくりを進める安倍政権に対し、「戦争をさせない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」や「平和憲法を守る東京ネット」などの集会に参加し、「5・3憲法集会」をはじめ3000万署名、国会前座り込み行動、各種学習会に参加しました。

3. 脱原発社会実現・東日本大震災からの復興・辺野古新基地建設反対の取り組み

事態収束・廃炉に程遠い福一原発事故の責任究明と、政府の再稼働や核燃料サイクル推進など命より経済の優先する政策を是正させる活動・集会・日退教福島原発学習の旅などに積極的に参加しました。東日本、熊本、北海道震災、水害被災地の復興、辺野古新基地建設反対の運動支援にも多くの会員からカン

パが寄せられ、日退教を通じて被災地、辺野古にカンパしました。

4. 後期高齢者医療制度廃止・社会保障充実の取り組み

保険料負担増、給付の抑制など高齢者社会保障改悪の実態を「都退教協だより」により会員に具体的に知らせるとともに、医療・福祉制度の後退に歯止めをかけるために日退教、東京高退連、都退協とともに取り組みをすすめました。

5. 年金制度に対する取り組み

マクロ経済スライドの調整にキャリアオーバー制度が導入され、今年度の年金引き上げは大幅に抑えられ1.6%に抑えられました。

東京高退連、日退教とともに年金・医療・介護制度の改悪反対、GPIF運用の適正化にとりくみました。

6. 税制に対する取り組み

消費税の逆進性(低所得者ほど負担が大きい)により消費が低迷するとともに、消費税増税分が社会保障に充てられず、法人税大幅軽減や公共事業等に回される中で、今年10月には消費税10%を実施しようとしています。しかし、安倍政権は選挙目当てに三度実施を延期し衆参同時選挙も狙っていると報じられています。税制を政治の具にさせず、累進課税を強化し富の再配分による低所得者対策を求めて取り組みを強化しなければなりません。

7. 公務員制度改革に対する取り組み

労働基本権も与えないまま、人事考課に基づく賃金差別、本給の引き下げ・退職金削減、定数削減が行われています。また、教職員の過重労働が社会問題になる中、現退一致の取り組みで、労働時間短縮、定員増を求めて、公共サービスの確立の取り組みを進めました。

8. 安倍政権の教育介入を許さず、民主教育を守る取り組み

中学校まで道徳の教科化が進み、教育に土足で踏み込む安倍「教育改革」は、改憲と一体になって猛威を振るっています。

また、オリパラ教育の押し付け、日の丸・君が代の強制も止まるところを知らず、一方、『「君が代」処分撤回を求める会』の裁判は、最高裁で処分取り消しの判決が出るなど都教委の処分の不当性が明らかに学校教育に再び戦争の影が忍び寄っていると感じざるを得ません。



9. 「朝鮮高級学校授業料無償化」に対する取り組み

高校生を原告とする無償化裁判は、相次いで不当判決が出されていますが、政権におもねる司法に対する批判と「無償化」を求める声は広がっています。朝鮮学校の学生、卒業生と連帯して取り組みを進めました。

2018年度 業務日誌

2018年7月～2019年6月

7月4日(水)13:00 役員会・14:00 都退教協総会(東京教組会議室)

7月18日(水)15:00 都退協幹事会(都退教協三役会) 都労連会議室

7月27日(金)13:00 地公退総会(麴町)

8月1日(水)15:00 都退協総会(都庁)

8月15日(水)13:00 役員会

9月3日(月)13:30 関東ブロック囲碁大会打ち合わせ(日退教会議室)

9月11日(火)13:00 地公退高齢者集会(日本教育会館3階ホール)

9月12日(水)13:00 高退連高齢者集会 (文京シビックホール)

9月17日(月)13:00 脱原発集会(代々木公園)

9月19日(水) 13:00 三役会

9月19日(水) 18:30 戦争法3年総行動 (日比谷野外音楽堂)

9月22日(土)14:30 セクハラ学習会 (都高教退主催、都退教協後援) 連合会館

9月28日(金)日退教関東組織活動交流会
13:00～ (ラポール日教済)

10月10日(水)17:30 都政連事務局会議

10月11日(木)11:00 五者合同学習会 (ラポール日教済)

10月12日(金)14:00 日退教組織活動交流集会(ラポール日教済)

10月16日(金)14:00 関東ブロック囲碁大会 (ラポール日教済)

10月17日(水)13:00 役員会

10月19日(金)18:30 国会前総行動 (衆議院第1議員会館前)



10月26日(金)8:45 集合 9:30～ 関東ブロック囲碁大会(ラポール日教済)

11月3日(土)14:00 国会前総行動 (衆議院第1議員会館前)

11月7日(水)11:00 秋の交流会(東京タワー)

11月19日(月)18:30 国会前総行動 (衆議院第1議員会館前)

11月21日(水) 13:00 三役会

11月25日(日)～26日 日退教福島学習の旅

12月4日(火)15:00 都退協役員会

12月19日(水)13:00 役員会

2019年

1月7日(月)18:30 参議院選挙打ち合わせ

1月16日(水) 13:00 三役会

1月19日(土)14:00 安倍9条改憲NO! 国会前行動

1月24日(木)14:00 地公退学習会(ルポール)

1月24日(木)18:00 参議院選挙日教組東京決起集会(707)

2月8日(金)14:00 退女教学習会(703)

2月10日(日)12:00 都退協宿泊学習会 (箱根路開雲)

2月11日(月)10:30 日朝教育交流集会 (西東京第1朝鮮初中級学校)

2月15日(金)17:00 都政連議員懇談会(謝朋殿新宿110ビル)

2月19日(火)14:00 東京高退連学習会(田町交通ビル5階)

2月20日(水)13:00 役員会

2月21日(木)17:30 都政連事務局会議

3月21日(木) 13:30 さよなら原発集会(代々木公園)

3月22日(金) 13:00 三役会

3月22日(金)15:30 日退教関東ブロック引継ぎ

3月27日(水)13:30 高退連年金改革学習会 (連合会館)

4月3日(水)11:00 都退教協、都高教退職者会花見 (大崎駅・目黒川)

4月17日(水)13:00 役員会

4月27日(土) 10:00 メーカー (代々木公園)

5月3日(金)13:00 憲法集会 (有明防災公園)

5月15日(水)13:00 拡大三役会

5月30日(木)14:00 日退教関東ブロック総会 (ラポール日教済)

6月7日(金)11:00 日退教総会 教育会館701

6月19日(水)13:00 役員会

都退教協・2019年度 活動方針(案)

「天皇の代替わり」に伴う諸行事に関する「過剰」とも思えるメディアによる「改元報道」は、「異常」としか映りません。これが、「天皇制維持」のための「補完行為」以外の何ものでもないことも明白です。戦後70年余、政権をほぼ独占してきた「保守勢力」は、その体制の土台である「家父長制」の「象徴」でもある「天皇制」は何が何でも維持しなければならないと考えているに違いありません。むしろ、これにはテレビ放映権などを事実上左右していると言われる立場にある、大手広告代理店が関わっていることも見逃せません

「令和」の「原典」とされる「万葉集」が、8世紀半ばごろ、歌人・大伴家持を中心に有力歌人たちによって編纂されたことは今日ほぼ明らかです。この中の「巻5」全体は主人公が家持の父、大伴旅人です。引用された箇所は、730(天平2)年正月、太宰権帥(帥老)の旅人が主催し、「歌詠み」を兼ねた「梅見の宴」に際し詠まれた32首の歌の序文で、漢文で掛れています。これがその約380年前に書かれた中国・晋時代「蘭亭序」(王羲之)を「範」としたものであることはよく知られています。しかも、「宴」が催されたのは、都を遠く離れた九州・大宰府で、参加者の多くが、「身の不運」を感じていた人々とも考えられます。そうすると、「学者」による公表「解説」には、かなり無理があるようです。今普通に使われている文字が「漢字」なのですから、純粹の「国産」があるわけがありません。

何が何でも体制維持を図ろうとする「元号」に対する現政権の意図は明白です。「令和」を文字通り解せば、「上からの命令には従え」となります。私たちは、このような意図を受け入れるわけにはいきません。

「虚偽と欺瞞」に固められた「忖度政権」をこれ以上続けさせるわけにはいきません。それを実現するには、今、当面する参議院議員選

挙に勝利することです。私たちは「みずおか俊一」をはじめとする、日政連候補の全員当選を期して、全力を挙げて取り組みます。

学校現場の常識的には考えられない劣悪な現状を変えるためにも、「政権交代」はどうしても必要です。私たち退職者も、「知恵」は出せます。お互いに、出来ることから始めましょう。

「諸情勢」については、「経過報告」で縷々述べられていますので、以下、活動方針案を記します。

- 1) 一人でも多くの会員の加入を図ります。会員それぞれが持つ特性を生かし、それを紹介しながら、同好者が集まって交流の場を作り、交流を深めます。また、会員からの情報をいただき、未加入の人にも呼びかけて、「学びの場」を設けます。
- 2) 安倍内閣即時退陣、改憲阻止に向け、関係諸団体と連携し、各種集会、行動に取り組みます。また、現憲法の国民理解を深めます。
- 3) 原発再稼働を許さず、脱原発社会を実現するためのエネルギー政策転換に取り組みます。原発被災者を始め、全被災者自身の意思に基づいた救済・復興の態勢づくりを進めます。
- 4) 社会保障制度の確立をはかり、私たちがめざす政策の実現に向け、あらゆる運動に取り組みます。後期高齢者慰療制度を廃止し、当事者である高齢者本位の介護・医療・年金・生活保障の充実を求めて都退協・日退教・高退連に結集し、一つ一つの行動に取り組みます。
- 5) 税制改正、累進課税基本の所得再配分により、所得格差の是正、貧困化緩和など

の実現に取り組めます。

- 6) 労働基本権剥奪、賃下げ、定数削減などの公務員攻撃に対し、現退一致で取り組みます。

- 7) 「日の丸・君が代」処分と「2003通達」の撤回を要求して取り組みます。

- 8) 「朝鮮学校授業料無償化」を実現するため、他の諸団体と連帯して取り組みます。

都退教協 2018 年度決算報告

収入の部 (単位 円)				
項目	予算額	決算額	増減	内容
年会費	270,000	282,000	12,000	2,000×141名
雑収入	75,000	138,732	63,732	日退教、過年度会費、他
カンパ会計より戻入	75,221	75,221	0	
繰越金	79,779	79,779	0	
合計	500,000	575,732	75,732	

支出の部				
項目	予算額	決算額	増減	内容
会議費	10,000	0	10,000	定期総会、関ブロ総会
行動費	200,000	188,162	11,838	動員費補助・役員会
事業費	160,000	127,534	32,466	会報印刷発送・事務費
分担金	89,648	86,648	3,000	日退教・都退協・関ブロ
雑費	40,352	39,108	1,244	慶弔・振替手数料
合計	500,000	441,452	58,548	
差引残高		134,280		次年度繰越金

2018 年度 特別会計(カンパ会計)決算				
項目	収入	支出	残額	内容
繰越金	249,299			
カンパ金	66,000			2018 年度
利息	1			
一般会計戻入		75,221		2018 年度予算
合計	315,300	75,221	240,079	

都退教協 2019 年度予算(案)

収入の部		(単位 円)		
項目	19 年度予算	18 年度予算	増 減	内 容
年会費	270,000	270,000	0	2,000×135 名
雑収入	75,000	75,000	0	日退教、過年度会費、他
繰越金	134,280	79,779	54,501	
カンパ会計より戻入	20,720	75,221	△54,501	
合 計	500,000	500,000	0	

支出の部				
項目	19 年度予算	18 年度予算	増 減	内 容
会議費	10,000	10,000	0	定期総会、関プロ総会
行動費	200,000	200,000	0	動員費補助・役員会
事業費	160,000	130,000	0	会報印刷発送・事務費
分担金	86,324	89,324	△3,000	日退教・都退協・関プロ
雑 費	43,352	40,352	3,000	慶弔・振替手数料
合 計	500,000	500,000	0	

2019 年度 特別会計(カンパ会計)予算				
項目	収入	支出	残額	内 容
繰越金	240,079			
カンパ金	80,000			
利息	1			
一般会計戻入		20,720		2019 年度予算
合計	320,080	20,720	299,360	



5.3 憲法集会に6万5000人

平和といのちと人権を！－許すな！安倍改憲発議－

5月3日、五月晴れの有明防災公園で憲法集会が開催されました。

安部首相が2020年までに「憲法改正」と明言する中で開催された憲法集会は、「平和といのちと人権を-許すな！安倍改憲発議」をかかげて昨年を上回る6万5千の人々が結集しました。

主催者あいさつを送りし高田健さん（総



がかり行動実行委員会共同代表)は、安倍政権の改憲策動を私たちの運動ではね返してきたと強調。「市民と野党の共同の力で今国会での改憲発議を阻止し、参院選で改憲勢力を打ち倒そう」と呼びかけました。

作詞家の湯川れい子さんは、戦争経験者として、憲法9条を守るために残りの人生をかけたい。憲法に自衛隊を書き込むという、インチキを許してはいけないと語りました。

沖縄からは、「辺野古」県民投票の会の代表である元山さんが発言「県民投票ではっきりと沖縄の民意が示されたにも関わらず、辺野古新基地の工事が続行している」と民意が踏みこたれている沖縄の状況を訴え、全国的な議論を呼びかけた。

(谷口記)

編集後記

* 参議院議員選挙は、憲法改悪を許さない民意が示されるかどうかを問うものになりそうです。というのも、この選挙で初めて自民党が改憲を前面に出してくるからだ。私たちの代表、みずおか俊一さんは、改憲を許さず、公教育を守り、発展させる砦になる人です。参議院の比例代表の投票用紙に「みずおか俊一」と書かなければ当選できません。会員の皆さん、必ず投票に行ってください。

* 全国で、教員不足が深刻になっています。特に、病欠代替や産・育休代替教員がいない事態は深刻です。教員の長時間労働や過酷な教育現場が世の中に知られるようになって教員志望の若者も激減しています。東京都でも65歳以上の人にも講師をお願いしたり、教員免許を更新していない退職者も特例で採用しなければならない状況です。残業代なしを定めた給特法や免許更新制、人事考課などの悪政のツケが一気に噴き出し、公教育が危機に瀕しています。

* 今年の会費を同封の郵便振込用紙で納入してください。昨年、会費納入状況をお知らせしたところ、数年分まとめて納入して下さった方が沢山いました。ありがとうございます。その結果、2018年度決算で雑収入(過年度会費納入)が6万円余増えました。しかし、まだカンパ会計から補填しながらやりくりしています。引き続きカンパへのご協力もお願いいたします。

* 退職後の生活費に2000万の貯蓄が必要との金融庁の報告書を安倍政権は受け取らないという。でも「年金だけでは暮らしていけない」は庶民の実感。退職金は家のローンの返済に充てたし、体が動くうちに、もう少し働いて蓄えないと生き続けられません。(谷口記)